

校長挨拶

『充実した高校生活を送ってみませんか！』

秋田県立西目高等学校のホームページにアクセスしていただきありがとうございます。

本校は昭和17年4月、農業教育に対する地域の強い要望によって、農業科、農業土木科から成る県立西目農業学校として開校しました。その後、時代の流れ、社会の要望に応じて校名や学科の変更があったものの、「自分を励まし、継続して努力する」という校訓『自彊不息』の精神の下、職員・生徒が一丸となってこれまで歴史と伝統を築いてまいりました。平成24年度には創立70周年を迎え、これまでの卒業生は一万三千人を超えています。

本校の最大の特色は、平成8年に新設された「総合学科」にあります。総合学科とは、色々な分野のたくさんの科目の中から、自分の進路や興味・関心にあった系列を選び、自分だけの時間割を作って学習するシステムです。本校では、実際に進学や就職に不都合が生じないように、3年間で体系的な学習ができるように、5つの系列を設けています。進学希望者に対応して普通科目を中心に学習する文理系列、専門科目を学習する、農業科学系列、土木系列、ビジネス会計系列、教養文化系列があり、生徒が各々の系列での学習を通して個々の潜在的な能力を最大限に伸ばさせることを目指しています。この総合学科は1年次の「産業社会と人間」における多様な学習経験により、それぞれの進路意識を深め、2年次以降の系列選択、教科・科目の選択を通して主体的な学びを深め、3年次における「課題研究」における取り組みまで、総合学科での学びを価値あるものとしております。

本校は恵まれた教育環境の中で、学習はもちろんのこと生徒会活動や部活動も盛んです。全県トップレベルの戦いを繰り広げているサッカー部、野球部、ボクシング部、弓道部などの運動部（10クラブ）や全国高校総合文化祭に出場している美術部、書道部などの文化部（10クラブ）があり、多くの部活動が輝かしい成績を収めております。特にボクシング部からは本校卒業後、アテネ五輪に出場し、さらにはプロボクサーとしてWBCフライ級の世界チャンピオンになった五十嵐俊幸選手がおります。

本校が望む生徒像は、基礎学力、基本的な生活習慣がしっかりと身につけている生徒で、かつ部活動を一生懸命に頑張る生徒、四年制大学進学などを目指して学業に積極的に取り組む生徒や、農業・工業（土木）・商業の専門教科を学習して資格取得などに積極的に取り組み、地域産業の振興に貢献しようとする生徒です。

「夢を叶えたい」「充実した高校生活を送りたい」「自分の能力を伸ばしたい」と思っている中学生の皆さん、このような特色ある素晴らしい学習環境のもとで、明るく生き生きとした高校生活を送り自分の進むべき道を探してみませんか。

平成29年4月

校長 佐藤 信英